

社会福祉法人 刈谷田福祉会

特別養護老人ホームいずみ苑

創立30周年記念



ウェブブックはこちらから

動画はこちらから

30th Anniversary

ご挨拶



理事長 岸 弘 遺

社会福祉法人刈谷田福祉会を設立し、「特別養護老人ホームいずみ苑」を平成3年に開苑して、今年で30年を迎えることができました。

昨年からのコロナ禍の中で、施設での発生を防ぐため、ご利用者及びご家族に面会やご利用の制限につきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、刈谷田福祉会30年を振り返りますと、新潟県及び関係市町村の協賛によりまして、栃尾に初めての100床の特別養護老人ホームを開設し、その後、デイサービスセンター、居宅介護支援センター、包括支援センター、平成27年には地域密着型複合施設みやざわ苑を開設して、地域のニーズに沿う事業の拡大を図って参りました。

この間、水害・地震、豪雪などの大規模な自然災害にみまわれましたが、幸いにもご利用者、施設におきましては大きな被害もなく、各施設を運営して今日に至っております。

栃尾地域は、人口の減少と高齢化の更なる進行など高齢者介護を取り巻く課題は厳しさを増している中、当法人以外にも老人介護施設が誕生し、サービスの質を競い合い、当法人も地域福祉の向上を目指しております。

30周年を迎えることは、施設及び設備の老朽化に伴い、その対応に多額の財源が必要であり、法人運営の健全経営を追求しなければならない厳しい課題を背負っているところです。

これまでの30年の法人運営を礎として、今後更なる施設の充実を図り、関係機関と連携し、サービスの向上に努め地域のトータルケアの拠点として、皆様から期待される施設を目指して努力する所存でございます。

今後とも、刈谷田福祉会にご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

30年を振り返って ~ 今後に思うこと~



特別養護老人ホームいずみ苑 施設長 中澤 都子

刈谷田福祉会に入職して早30年。

私が福祉・介護の奥深さを感じた大きなきっかけは、在宅事業所で活動した9年間です。

平成12年に在宅介護支援センターに配属され、平成18年に地域包括支援センターへ 異動しました。今まで施設介護しかわからない状況の中、在宅介護での工夫やあり方 など、栃尾の在宅介護を担っていた皆さんからご指導をいただき、一方向しか見えて いない私の偏った考えを覆してもらった貴重な期間でした。

高齢者施設の取り巻く環境は、著しく変化が生じていると実感しております。

都会の特養では、既に取り組んでいますが、先日身寄りのない高齢者の方を看取る ことがありました。

身寄りがないということは、荼毘にふせる支援という新たな課題が生じます。一例ではありますが、何事も「初めて」があり、試行錯誤しながら取り組んだことが標準化していく場合もあります。

いずみ苑が30年を迎え、更なる事業の推進と新たな課題解決をするには、変化に対応できる柔軟性と行動力、チーム力は欠かせないと考えます。

そして、お世話になっている同業者及び地域の方の繋がりと協力があって事業所が 成り立っていることを再認識し、引き続きのご協力とご指導をお願いいたします。

社会福祉法人 刈谷田福祉会

事業運営方針

共に生き、共に育み 「尊敬の心」「感謝の心」「謙虚な心」の サービスの提供に努めます。

事業運営目標(令和3年度)

- 1 ご利用者に寄り添った介護を心がけ、 思いやりのある心と態度で各職種協働し、 心のこもった質の高いサービスの提供と 接遇に努めます。
- 2 新型コロナウイルス感染症の施設内 感染の予防に努めます。

ロゴマーク

3つ葉のクローバーをモチーフに、葉のひとつひとつは「いずみ苑」「みやざわ苑」「おおの苑」の3施設をイメージし、そのクローバーを人が包み込むような型で一体感や、安心感を表現しています。



社会福祉法人 刈谷田福祉会

30年のあゆみ

平成2年6月30日 ◆ 社会福祉法人刈谷田福祉会法人成立

平成3年5月1日 特別養護老人ホームいずみ苑設置認可

5月23日 ◆ 特別養護老人ホームいずみ苑ご利用者入所開始(定員100名)

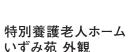


入所開始



竣工式





6月19日 ♦

短期入所事業いずみ苑事業開始(定員20名)

8月19日

デイサービスセンターいずみ苑事業開始(定員 15 名)

9月1日

いずみ苑施設ボランティア「かたくりの会」活動開始

9月15日 ↓ いずみ苑家族協力会設立 第1回総会

平成4年1月15日 ・ 広報誌「いずみ苑だより」第1号創刊



30年のあゆみ

平成5年8月20日 ・ いずみ苑納涼まつり(以後、毎年開催)







納涼まつり

平成6年2月14日 **・** ボランティア「ひまわりの会」活動開始 平成8年7月5日 ↓ いずみ苑創立5周年記念式典開催



5周年記念式典

平成13年4月1日 ♦

平成 11 年 10 月 1 日 ∮ 栃尾市から「栃尾市在宅介護支援センターいずみ苑」業務委託 平成 12 年 4 月 1 日 ↓ デイサービスセンターいずみ苑定員増員(15 名 ⇒ 25 名) 特別養護老人ホームいずみ苑定員増員(100 床⇒120 床) デイサービスセンターいずみ苑定員増員(25 名⇒30 名) 栃尾市から「デイサービスセンターおおの苑」業務委託(定員 25 名)



デイサービスセンターおおの苑竣工式



デイサービスセンターおおの苑 外観

30年のあゆみ

平成 13 年 10 月 21 日 ・ いずみ苑 創立 10 周年記念式典開催



10周年記念式典

平成 16 年 5 月

10月23日

平成 14 年 8 月 1 日 ・ デイサービスセンターおおの苑定員増員(25 名 ⇒ 30 名)

広報誌「いずみ苑だより」第50号発行

平成 16 年 7 月 13 日 ◆ 新潟県中越 7・13 水害発生

新潟県中越地震発生





水害発生

一時避難

平成18年1月1日 ◆

栃尾市が長岡市と合併

合併に伴い「デイサービスセンターおおの苑」が 「長岡市デイサービスセンターおおの苑」に名称変更 合併に伴い「栃尾市在宅介護支援センターいずみ苑」が 「長岡市在宅介護支援センターいずみ苑」に名称変更 栃尾デイサービスセンターいずみ苑・地域交流室等の増築棟竣工式

3月26日





栃尾デイサービスセンターいずみ苑 外観





地域交流室

4月1日

長岡市から「長岡市地域包括支援センターとちお」業務委託 「長岡市在宅介護支援センターいずみ苑」を法人経営に変更し、 「居宅介護支援センターいずみ苑」に名称変更

9月1日

平成19年7月16日

「長岡市デイサービスセンターおおの苑」長岡市から指定管理者に指定 新潟県中越沖地震発生

30年のあゆみ

平成23年10月8日・いずみ苑ボランティア第1回感謝祭(以後、毎年開催) 11月10日 ・ いずみ苑 創立 20周年記念式典開催





20周年記念式典

平成 27 年 4 月 1 日

地域密着型複合施設みやざわ苑開設 特別養護老人ホームみやざわ苑事業開始(定員29名) グループホームみやざわ苑事業開始(定員18名) 小規模多機能型居宅介護みやざわ苑事業開始(定員 25 名)



地域密着型複合施設みやざわ苑 外観

令和 2 年 2 月

平成 31 年 3 月 ・ 広報誌「いずみ苑だより」第 100 号発行 新型コロナウイルス感染予防対策開始 令和 2 年 3 月 31 日 ◆ 小規模多機能型居宅介護みやざわ苑事業廃止

現在に至る

特別養護老人ホーム

いずみ恭

いずみ苑の行事は、地域の方々の協力があるから、楽しさ・うれしさ倍増!



















短期入所事業

いずみ恭

短期入所事業いずみ苑では、ご利用者が1泊2日・2泊3日…などの短期間でのご利用、また長期(30日以内)のご利用も可能な施設です。

ご利用者が安心して楽しく過ごしていただけますように、職員一同サービスの 提供に取り組んで参ります。

在宅での生活を継続できるように会

体操やレクリエーションを通して、楽しく活動的に過ごし、自立した 生活の維持・向上のお手伝いをさせていただきます。













~季節 感じるひと時を~

毎年職員が趣向を凝らし、楽しいひと時を過ごしていただいております。 季節感を大切に、みなさまの気分転換となるよう努めております。









柑 鑑賞





板屋デイサービスセンター

いずみ恭

☆豊富なアクティビティ

デイサービスセンターいずみ苑では、リハビリ体操やレクリエーションで体の機能を、オリンピック選手も行っている脳活性化プログラム、シナプソロジー、で脳の機能を活性化しています。季節感のあるレクを企画し、五感も刺激しています。









スイカ割レク

☆人生を豊かにする 余暇時間は、個人の趣味を活かした活動を提案し、生きがいを見つけています。余暇活動 塗り絵、切り絵や囲碁、将棋のほか、音楽演奏による合唱も楽しまれています。









☆作品づくり 季節の壁画などを作成し市展にも出品しています。









☆リハビリ 看護師による個別機能訓練を行なっています。









長岡デイサービスセンター

おおの競



クリスマスの

作品

金魚すくい

お正月の獅子舞

ちぎり絵

カルタとり

地域密着型 特別養護老人ホーム

みやさわ恭



地域密着型 特別養護老人ホームみやざわ苑とは

明るく家庭的な雰囲気を融資、地域や家庭との結び付きを重視した小規模な定員29名、全個室、ユニット型の特別養護老人ホームです。

各ユニット(9~10人のグループ)に固定配置された顔なじみのスタッフが入居者の個性や生活リズムを尊重した暮らしを支援しています。

地域のボランティア様との交流を積極的に行い、繋がりを大切にしています。



















納涼祭

笹団子作り



日常のレリエーションもいろいろあります











入居者の心やすらぐ居場所として、感じの良い高品質なサービスを 提供することを、職員一同努めております。 グループホーム

みやさわ恭



- 1 いごこちの良い家庭的な環境づくりに努めます。
- 2 その人らしい生活をお手伝いします。
- 3 地域の方とのつながりを大切にします。















居宅介護支援センター

いずみ恭



提供するサービス

- 居宅介護サービス(ケアプラン)の作成
- ■介護サービスを利用するために必要な 連絡調整
- ■ケアプラン作成後の連絡調整 (モニタリング)
- ■自宅訪問等による健康、生活、介護に かかわる相談
- 要介護認定、諸申請提出代行
- ■居宅サービス利用時の苦情受付

ご利用者に



定期的にご利用者宅を訪問します。

JEO BUNCHES OF THE STATE OF THE

ご本人・ご家族を交えながら専門職が集まり 質の高いサービスが提供できる ように話し合いを行います。

特別養薑老人ホーム いずみ死



長岡市地域包括支援センター

とすお



◎総合相談支援

様々な相談を受け、地域における適切なサービス機関、または制度の利用につなげております。

○権利擁護業務

高齢者虐待への対応、支援困難事例への対応、成年後見制度の利用の推進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援を、長岡市や関係機関と連携を取り、支援しております。

◎包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

在宅・施設を通じた地域における包括的・継続的なケアを実現するため、地域の介護支援専門員を始めとした関係機関や専門多職種の連携を支援しております。

◎介護予防ケアマネジメント業務

要介護状態等になることを予防し、できる限り住み慣れた地域で自立した生活を継続できるように支援しております。





夏まつりに新さ

夏まつりに新たな発想!











コロナ時代

今、できること







夏まつりといえば、かき氷・スイカ割!

斬新なアイデアと 昔ながらの夏まつりが 合体です!





タブレットでオンライン面会



マスクとアクリル板で 感染予防!





笑顔 あふれる 毎日を!

職員からのメッセージ

今だから こそできる ことを!



想いをカタチで伝えたい。 私たちが 大切にしているもの。

























